

株主のみなさまへ

..... Vol.40

株主通信 第108期

2014年1月1日～2014年12月31日



SHIMANO

表紙: 2014年7月 第101回ツール・ド・フランス第12ステージの様子

SHIMANO



代表取締役社長 島野 容三

事業の経過及び成果

当連結会計年度におきましては、欧州債務危機再燃への懸念後退により景況感に持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ問題に端を発したロシアとの関係悪化の影響等を受け、持ち直しのペースは緩慢にとどまりました。一方、米国では雇用の改善傾向が強まり、個人消費を中心とする内需が堅調に推移し、景気を回復軌道に乗せました。

国内におきましては、急激な円安の進行による原材料コストの上昇に加え、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が一部業種で続き、企業の景況感は停滞しました。輸出については、海外経済の回復が続く中で円安傾向が強まり、改善の兆しを見せました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシン

グライフのご提案をしております。

この結果、当連結会計年度の売上高は333,168百万円（前年同期比22.9%増）、営業利益は65,816百万円（前年同期比57.5%増）、経常利益は71,019百万円（前年同期比49.4%増）、当期純利益は51,237百万円（前年同期比46.0%増）となりました。

自転車部品

主力市場である欧州市場では、暖冬による小売店の好調な販売は冬季以降も継続し、市場における在庫は低めで推移しました。北米市場は非常に厳しい冬という状況下で販売開始が遅れたものの、春以降の小売店での販売は概ね順調で昨年並みの水準を維持した結果、市場在庫は適正範囲内に収まっています。日本では厳しかった冬にも関わらず、小売店でのスポーツタイプ自転車や中高級価格帯軽快車の販売は消費税増税後も堅調を維持していますが、軽快車市場はやや低調に終わりました。

中国市場におけるスポーツタイプ自転車は今年も引き続き成長を続けており、高価格帯へのシフトも見られるなど順調に推移しています。また、他の成長余力のある新興国市場においても堅調な伸びを示しています。

このような市況のもと、来期以降の市場動向への期待感に加え、円安による当社製品に対する割安感の追い風を受けたことから多くのご注文をいただき、今年新製品として投入した当社最高級マウンテンバイクコンポーネントの「XTR」、同じくカジュアルモデルの「ALIVIO」、エントリーモデルの「Tourney TX」、ロードバイクコンポーネントの「105」、ロードバイク用ディスクブレーキを始めとする新製品の販売も順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は273,955百万円（前年同期比26.1%増）、営業利益は62,033百万円（前年同期比57.0%増）となりました。

釣具

国内市場では、年初から天候の安定と長期休暇の影響で市場は順調に滑り出したものの、その後の大雪による影響で一時的に市場が減速、夏から秋にかけての台風や大雨の影響、ガソリン代などの物価高騰による消費の足踏みなどがありました。このような市況のもと、春先の消費税増税前の高額品の需要増加効果や「NEWステラ」などの新製品で市場から高い評価をいただいたことで前年を上回る結果となりました。

一方、海外市場では、北米市場において第一四半期に天候不順に見舞われたものの、年度トータルとしては、全体的に恵まれた天候、新製品投入効果などもあり、販売は堅調に推移しました。また、アジア市場においても、経済成長の鈍化はありましたが販売は堅調に推移することができました。

この結果、当セグメントの売上高は58,825百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は3,943百万円（前年同期比64.0%増）となりました。

その他

当セグメントの売上高は387百万円（前年同期比2.9%増）、営業損失は160百万円（前年同期は営業損失135百万円）となりました。

期末配当のご報告

当社グループは、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに、業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、今回の期末配当金につきましては、前年同期から9円増配の1株当たり52円50銭（うち特別配当46

円25銭）の配当とさせていただきます。これにより当期の年間配当額は、前期から18円増額の1株当たり105円となりました。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、欧州では、欧州中央銀行による金融緩和とそれに伴うユーロ安、原油価格の下落などが追い風となり、緩やかな回復が続くことが見込まれますが、ギリシャ危機の再燃やロシアとの関係悪化による中東欧諸国の景気減速など、懸念材料が残っています。米国では、労働市場の改善を背景に個人消費が堅調に推移しているうえ、製造業の景況感にも回復の動きが見られており、景気拡大の気配が強まっています。また、景気の減速傾向に歯止めがかからない中国につきましては、政府による下支え策が実行されるか否かが注目されます。

国内におきましては、2015年10月に予定されていた消費税増税が先送りとなったことから、個人消費、設備投資を中心に緩やかに回復すると思われます。また、海外景気の持ち直しや原油価格の下落を背景に、輸出は伸長する見通しです。

このような経営環境の中、当社グループは、国内外の経済動向に注視しつつ、経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

以上により、平成27年12月期の売上高は355,000百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は73,500百万円（前年同期比11.7%増）、経常利益は73,500百万円（前年同期比3.5%増）、また当期純利益は53,000百万円（前年同期比3.4%増）を予想しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

平成27年3月

「価値創造企業」として、
力強く前進していくための拠点として
本社工場が創業の地・堺で生まれ変わります。
今回は、この本社新工場についてご紹介します。

本社新工場の概要

お客様の想像を超えるような「こころ躍る製品」を提供していくために、本社新工場は未来を見据えながら3つの施設が建設されました。

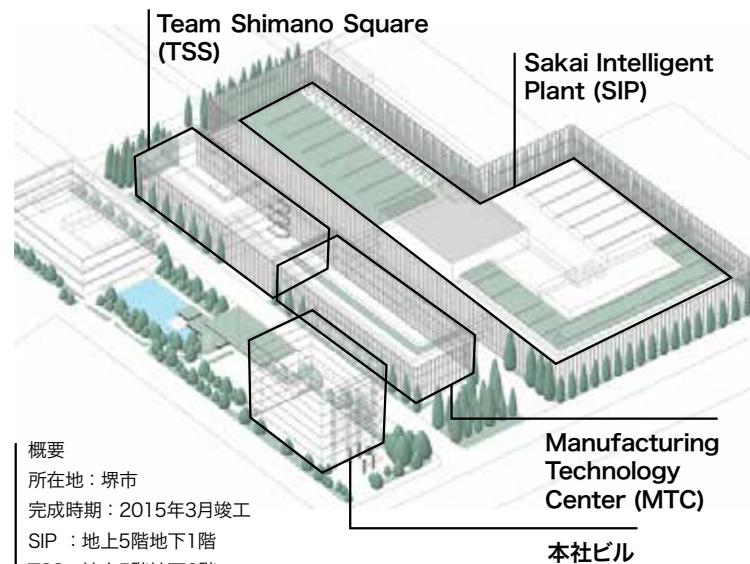
世界のリーディングファクトリーとしてのSakai Intelligent Plant (略称：SIP)、製造技術に関わる情報を集積するManufacturing Technology Center (略称：MTC)、そして働く社員たちが憩う環境を提供するTeam Shimano Square (略称：TSS)です。

本社新工場は、単に古い施設を新しくしたのではなく、これからのシマノを考え、それぞれの施設の役割を明確にし、よりシマノらしく生まれ変わったのです。

本社新工場
最新鋭の製造ライン。万一の地震に備え、免震/耐震構造となっています。



SIP屋上
工場周りをはじめ屋上も可能な限り緑化、環境に配慮しています。



概要
所在地：堺市
完成時期：2015年3月竣工
SIP：地上5階地下1階
TSS：地上5階地下2階
敷地面積：約24,800㎡

本社ビル

次世代のものづくり Sakai Intelligent Plant (SIP)

SIPは最新鋭の知識集約型工場として高いパフォーマンスを発揮するとともに、チームシマノのリーディングファクトリーとして世界中の工場をリードしていく役割を担っています。

最新設備を導入するとともに、各工程では自動化・効率化を追求し、かつてない高度な製造力を具現化しています。

また、万一の地震に備えて免震/耐震構造とし、従業員の安全を守るとともに、世界中のお客様への供給責任を果たせるようにしています。

さらに、地球環境や地域社会への配慮にも余念がありません。工場の周囲や屋上を可能な限り緑化しています。また、徹底した省エネ対策にも取り組み、環境負荷の最大限の低減を果たしています。

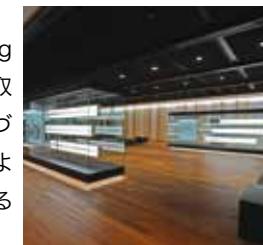


SIPの外観

世界のノウハウを集約 Manufacturing Technology Center (MTC)

SIPの機能をよりハイレベルなものにしていくのがMTCです。MTCは文字どおりテクノロジーセンターとして、全世界の製造情報を集積し、それを高度に融合し、各工場へ発信していく役割を担っています。

また、MTC内にあるManufacturing Technology Gallery(MTG)では、取引先のお客様に対し、シマノのものづくりと信頼性を理解していただけるようシマノのテクノロジーが一覧できるようになっています。



MTGの内観

社員のための快適空間 Team Shimano Square (TSS)

ものづくりのベースになるのはやはり人です。社員の心身の健康を養い、ひいては発想力やデザイン力をバックアップする施設が厚生棟のTSSです。ゆったりとした食堂や浴室をはじめ、社員が憩うことのできる快適空間となっています。TSSの1階に自転車通勤者のための駐輪場を完備したのは、自転車に関わる企業として自転車を大切にする姿勢をご理解いただくためでもあります。



1階は、広々とした駐輪場





**E-bike専用コンポーネンツ
SHIMANO STEPS E-6000
シリーズが欧州市場にデビュー**

E-bike(電動アシスト自転車)はフィットネスから日常生活まで、自転車をより便利に、より楽しむための一つ的手段として受け入れられ、世界中で普及し始めています。新登場のE-6000シリーズには、高い品質や一体感のあるデザインだけでなく、乗り手の生活にフィットした技術を盛り込みました。

例えばツーリング。登り坂でのモーターのアシストはノイズが静かながらも力強く、乗り手のこぐリズムに合わせた自然なモーターアシストで気持ちよく自転車をこぎ続けることができます。大容量バッテリーを搭載しているため100km以上*の長距離走行が可能となったほか、手元のボタン操作で自転車がゆっくりと動くウォークアシスト機能や、重いギアのまま降車しても乗車時には自動でこごだしに適したギアに変速するスタートモードを搭載し、快適性を高めました。

欧州ならではの厳しい気温や天候の変動にも対応するため、耐久性の高い内装変速、油圧式のディスクブレーキがラインナップされているほか、万が一のトラブルでもサポートを受けることができるディーラーネットワークを確立しました。

*エコモード設定時

2014年の取り組み



SPORT CAMERA CM-1000で新カテゴリー参入

スポーツ愛好家を中心に、ここ数年の間に急激に広がっている「スポーツアクションカメラ」市場に向けて、新しいカテゴリーの製品CM-1000の展開を始めました。

この製品は、今までシマノが培ってきた電子機器製品の製造に関する知識、経験を活かして開発されました。

CM-1000を通じてお客様に対して撮る、見るという楽しさや喜びを提供して、自転車文化、釣り文化をより広げたいと思います。

SHIMANO 105がモデルチェンジ

ロードレース入門から長距離ツーリングまで、幅広いユーザーから親しまれているミドルクラス ロードバイクコンポーネンツ105がフルモデルチェンジしました。2色のカラー展開など105らしさはそのままに、プロライダーやトップアマチュア向けのDURA-ACE、ULTEGRAで採用されている後輪ギア11速化や、フロントチェーンホイールの4アーム化などの優れた機能を継承し、高いコストパフォーマンスを実現しました。



バイクフィッティングを導入

当社初の試みである販売店様向けサービス、バイクフィッティングが日本を皮切りに続々と導入されています。このサービスでは、ライダーそれぞれの身体に合った自転車のセッティングを導き出すことができます。今後も日本での導入をさらに進めていくとともに、すでに始まっている海外への展開にも注力してまいります。



**2015年以降の
取り組み**

2014年に登場したマウンテンバイクフラッグシップモデルのXTRは、電気制御変速システムをはじめとした新機能を搭載し、プロライダーの勝利に貢献しました。下位モデルの開発において、単なる下方展開ではなく、ライダーの実力や走る環境など製品のグレードが持つ個性に合わせ、洗練された製品づくりを継続してまいります。



NEW CONCEPT for TOUGHNESS

真に使い込める耐久性を持ったリールをつくる
設計思想

“HAGANE”

“HAGANE”とは、精密かつ先進性にあふれたテクノロジーにタフネスを装備した、本気で使い込めるリールをつくる設計思想です。耐久性の高いギア、動力を効率的に伝える配置と設計、それらを支える剛性の高いボディによって、世界基準の強さと滑らかさを実現しました。

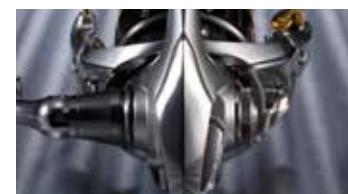
シマノテクノロジーの結晶
高耐久アルミ精密冷間鍛造ドライブギア



“HAGANE”ギア

シマノが最先端のテクノロジーを駆使して送り出す心臓部で驚異の耐久性を誇ります。歯面には一切の切削加工を行わず、先端から根本に至るまで、シマノが培った冷間鍛造テクノロジーによって形成しています。また、歯面は全て三次元設計技術によって緻密にデザインされています。

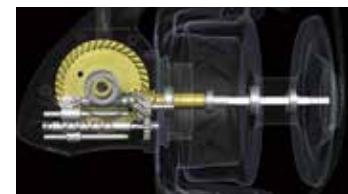
剛性の高い金属ボディ



“HAGANE”ボディ

不意の衝撃にも耐える剛性・耐衝撃性を確保し、たわみを最小限に抑えることで釣り人のチカラを巻き上げる「力」へと変換します。

滑らかさを形にする先進のギアシステム



X-SHIP

ギアの大型化、最適な配置、歯面精度や支持性能の向上によって、入力したパワーを効率よく伝達し、より強力な巻き上げを可能にします。

※“HAGANE”は当社製品のイメージをお伝えするためのキーワードであり、実際に鋼鉄等の鉄材料を使用しているわけではありません。



本気には、力が要る。

タフなボディ&ギア 新ツインパワー誕生。

TWIN POWER SW

圧倒的な「力」でソルトウォーターシーンを席卷！
手加減無用の超実戦型ウエポン

ステラSWの構造と独自のテクノロジーを融合。「力」にこだわり、何よりも強さを優先したタフなボディを実現しました。パワーロスを極限まで排除した巻き上げ力は、圧巻の一言です。



TWIN POWER

高耐久設計“HAGANE”搭載
釣り人の本気をサポートする堅牢なリール

10代目となる今回のモデルは、質実剛健に一層の磨きをかけました。高耐久設計“HAGANE”を搭載。“箱を開けたばかりの気持ちいいフィーリング”が、より長く続きます。



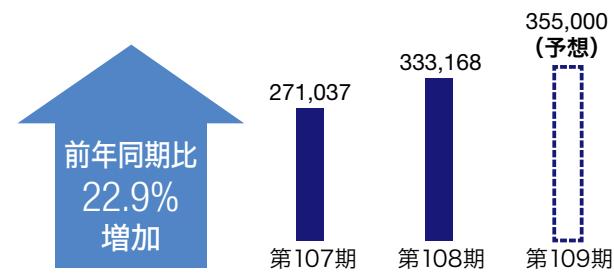
釣り場を守るための活動

「ゴミを持ち帰る」「見かけたゴミを拾う」という一人一人の小さな優しさが自然を守る大きな力になり、環境保全に対する関心を高める重要な足がかりになっていく。そんな想いから、シマノでは「シマノクリーンナッププロジェクト」を行っています。ご賛同いただける方をホームページで募集し、応募者にオリジナルプレゼントとゴミ袋をお届けします。活動後にはレポートと写真を送っていただき、それをホームページ上で公開しています。シマノは、今後もこの呼びかけを広め、釣りの社会的価値向上も視野に入れた活動として継続していきます。

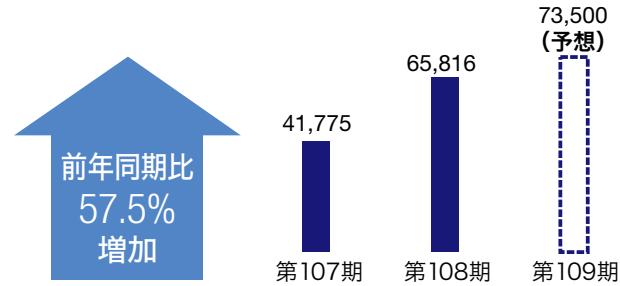
ホームページ： <http://www.shimano-cleanup.jp>



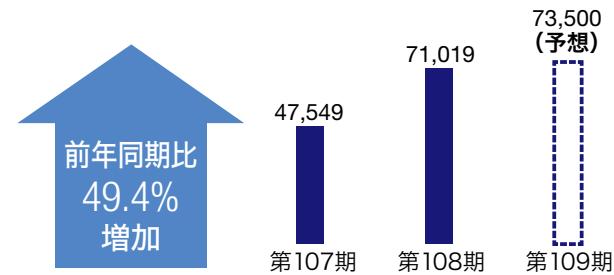
連結売上高 (単位: 百万円)



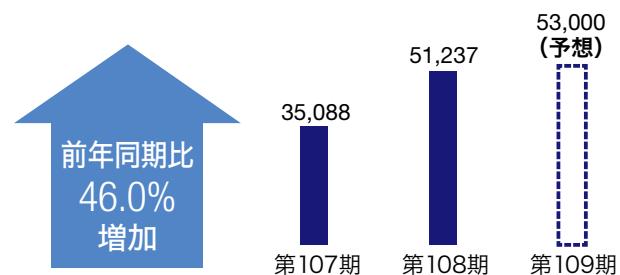
連結営業利益 (単位: 百万円)



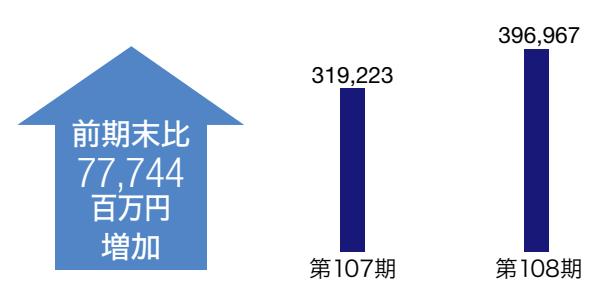
連結経常利益 (単位: 百万円)



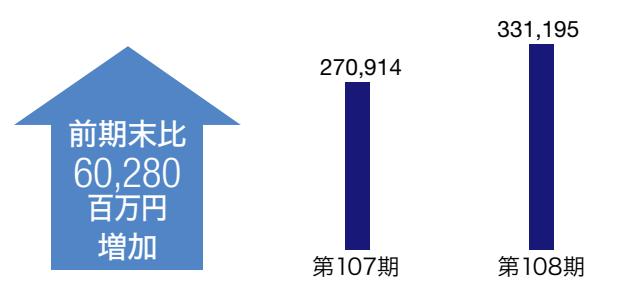
連結当期純利益 (単位: 百万円)



連結総資産 (単位: 百万円)



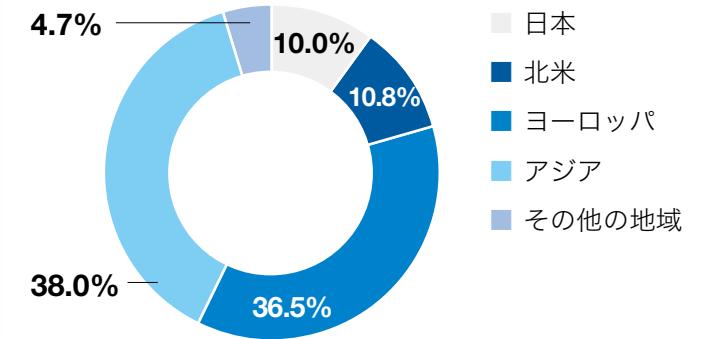
連結純資産 (単位: 百万円)



■ 地域別売上高の状況 (単位: 百万円)

	第107期	第108期
日本	31,545	33,243
北米	33,223	35,977
ヨーロッパ	93,357	121,584
アジア	99,246	126,777
その他の地域	13,664	15,585

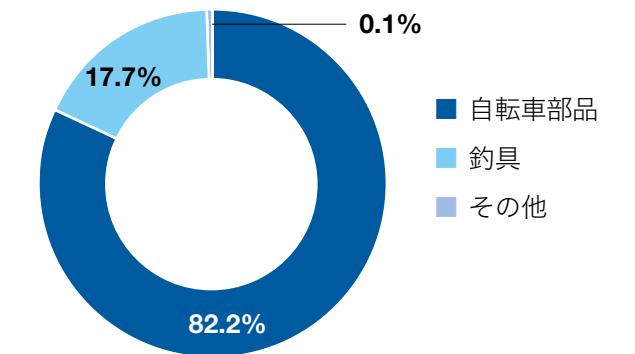
地域別売上高比率 (第108期)



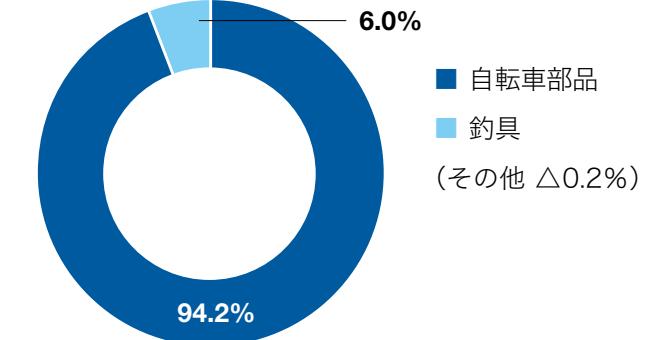
■ セグメント別の売上高と営業利益の状況

第108期	売上高 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)	営業利益 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品	273,955	26.1%	62,033	57.0%
釣具	58,825	10.2%	3,943	64.0%
その他	387	2.9%	△ 160	—

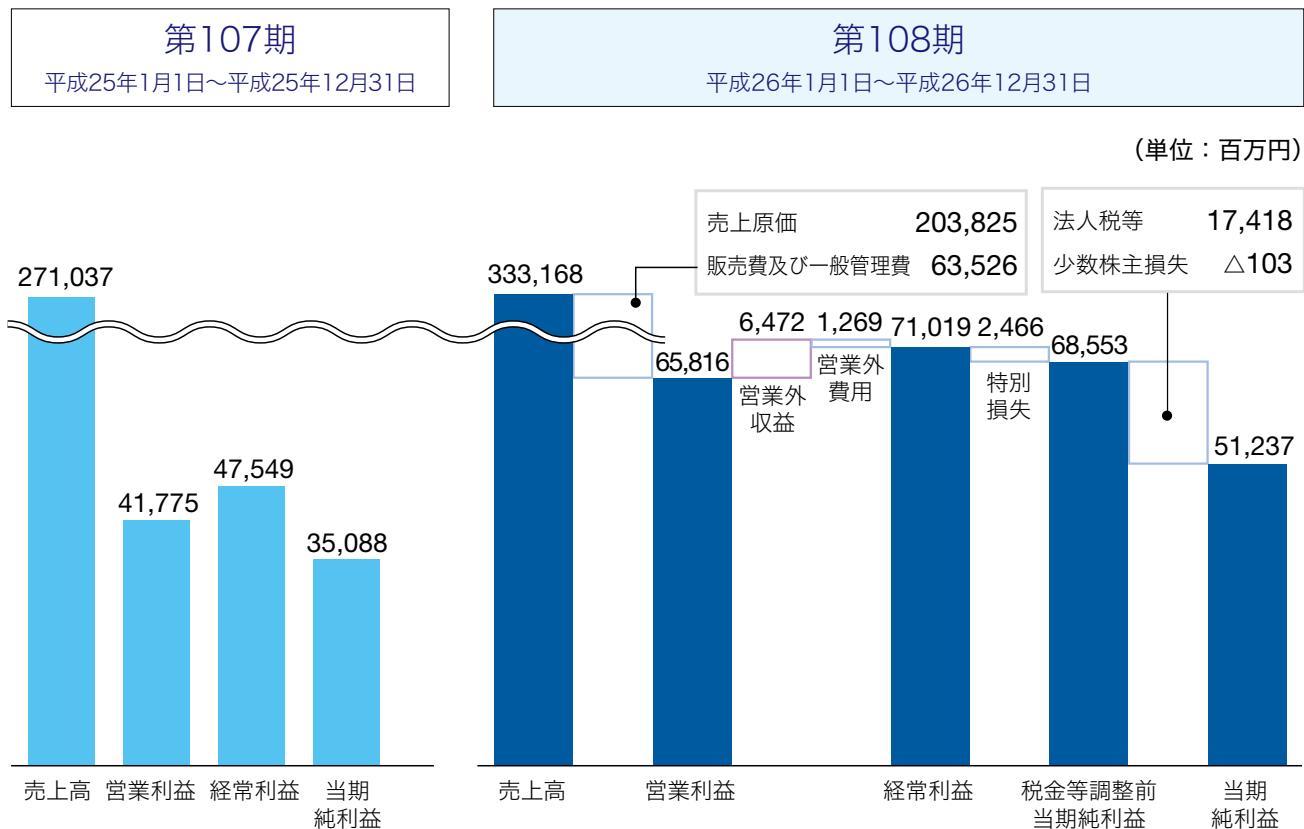
セグメント別の売上高比率 (第108期)



セグメント別の営業利益比率 (第108期)



■ 連結損益計算書 (要約)



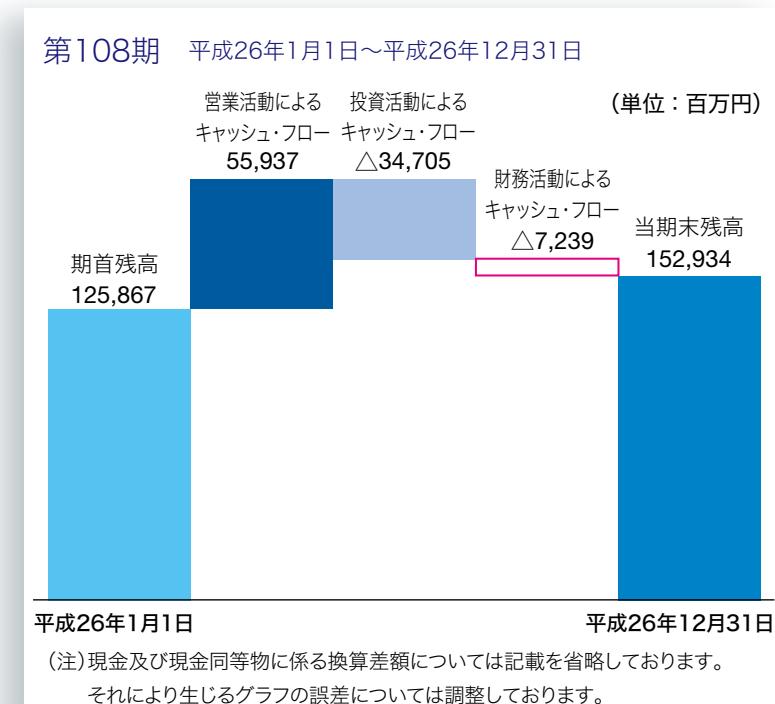
第109期予想 (連結)

	業績予想	セグメント別売上高予想
売上高	3,550 億円 前年同期比 6.6%増	自転車部品 2,920 億円 前年同期比 6.6%増
経常利益	735 億円 前年同期比 3.5%増	釣具 626 億円 前年同期比 6.4%増
当期純利益	530 億円 前年同期比 3.4%増	その他 4 億円 前年同期比 3.3%増

■ 連結貸借対照表 (要約)

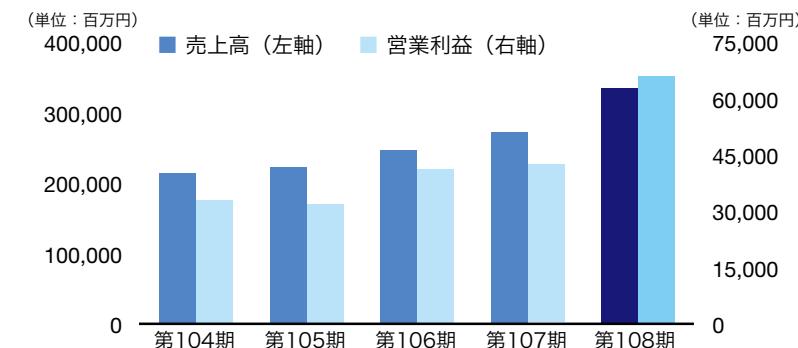


■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)



売上高と営業利益の推移

第108期における売上高・営業利益は、健康志向や環境保全志向の高まりといった追い風の中、自転車部品事業・釣具事業とも新製品の販売が好調であったことに加え、円安基調が続いたこともあり、前期を上回ることができました。



会社概要 平成26年12月31日現在

社名 株式会社シマノ
英文社名 SHIMANO INC.
創業年月 大正10年(1921年)2月
設立年月 昭和15年(1940年)1月
資本金 35,613百万円
従業員数 1,138名
事業内容 自転車部品、釣具、冷間鍛造品およびロウイング関連用品等の製造販売
本社 〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地
URL www.shimano.com

役員

代表取締役社長	島野 容三	取締役	豊嶋 敬
代表取締役専務取締役	角谷 景司	取締役	人見 康弘
専務取締役	渡会 悦義	取締役	チア チン セン
専務取締役	和田 伸司	取締役	松井 浩
常務取締役	湯浅 哲	社外取締役	一條 和生
常務取締役	平田 義弘	常勤監査役	島津 孝一
取締役	島野 泰三	常勤監査役	勝岡 秀夫
取締役	樽谷 潔	社外監査役	松本 五平
取締役	津崎 祥博	社外監査役	野末 佳奈子

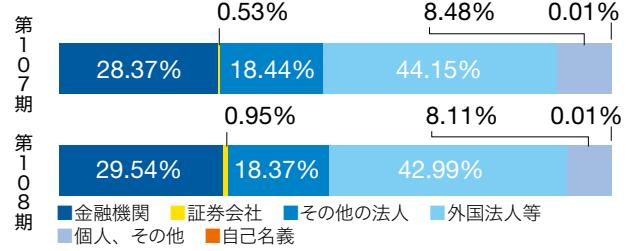
株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	3月下旬に開催いたします。	株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	電話照会先	☎ 0120-782-031
公告方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 (http://corporate.shimano.com/financial/) ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
		証券コード	7309

13 株式情報 平成26年12月31日現在

- 発行可能株式総数 262,400,000株
- 発行済株式の総数 92,720,000株
- 株主数 6,533名
- 単元株式数 100株

構成比率

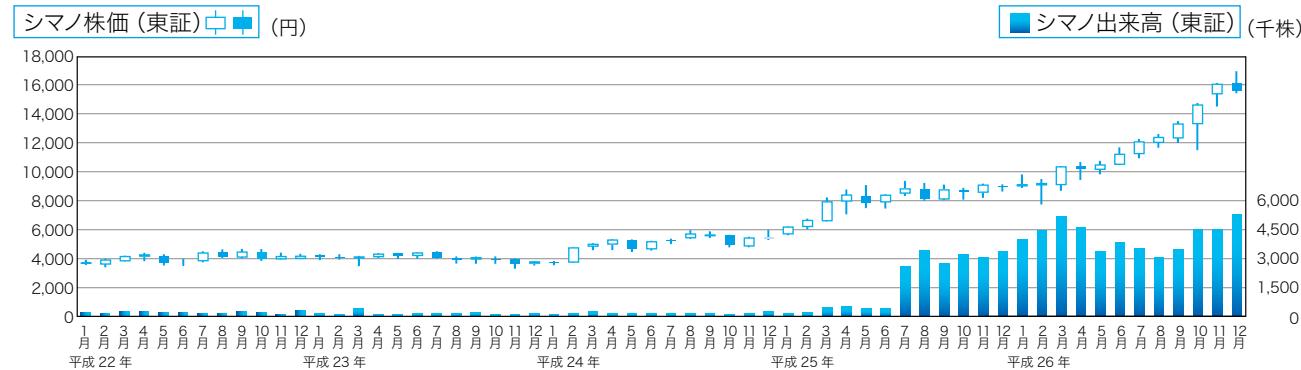
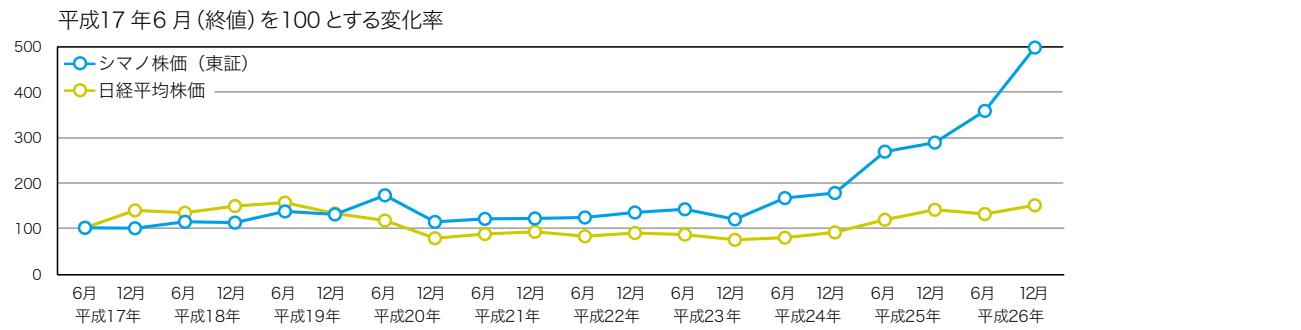


大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
湊興産株式会社	7,400	7.98
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	5,804	6.26
太陽工業株式会社	4,040	4.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,944	4.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,725	4.02
株式会社スリーエス	2,171	2.34
日本生命保険相互会社	2,098	2.26
CBNY-CHARLES SCHWAB FBO CUSTOMER	2,087	2.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,066	2.23
株式会社りそな銀行	1,711	1.85

(注)持株比率は自己株式(15,462株)を控除して計算しております。

株価チャート



※株価及び出来高は、平成25年7月16日より東京証券取引所市場第一部におけるものであり、それ以前は大阪証券取引所市場第一部におけるものであります。